

(AO入試I)

平成30年度入学試験問題

小論文

( 農学生命科学部 生物学科 )

**【注意事項】**

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。数字、アルファベットの場合も、同様とする。
6. 解答用紙の指定された欄に、受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

以下の文を読み，問題 1 から問題 3 に答えなさい。

著作権の関係上，省略します。

表 1 協力行動と裏切り行動の組み合わせ間の損得とその点数

著作権の関係上，省略します。

(出典：「利己的な遺伝子」，リチャード・ドーキンス)

### 問題 1

動物の協力行動には、自分は不利益になっても群れ全体に利益を与える利他行動がある。動物の利他行動の例を 200 字以内であげなさい。

### 問題 2

群れを作る動物で協力行動が進化しやすい理由をハトのダニ取りゲームの例で示した点数を使って 400 字以内で説明しなさい。

### 問題 3

協力行動に関するゲームの理論の結果が、人間社会にもあてはまるかどうかを実際の例をあげてあなたの考えを 200 字以内で述べなさい。